

# 下水道公社だより



しずくちゃん

- さわやかな暮らしを築く 下水道 -



すいてきくん

2003年 10月号

## 目次

- 『下水道まつり』を終えて
- 『平成15年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会』のご案内
- センターだより『県中浄化センター』
- 社会科見学 作文のご紹介
- 『下水道施設設計受託』のご案内

## 『下水道まつり』を終えて

さる9月6日(土)、当公社県北浄化センター及び県中浄化センターにおいて開催された『下水道まつり』には、多くの方々を訪れていただきました。開催に当たりましてご協力いただいた県、関係市町村及び関係団体の皆様に、紙面を借りて御礼申し上げます。

### 【県北浄化センター】

県北浄化センターの下水道まつりは、『**未来に残そう！ふくしまの美しい川**』をテーマに、一般の方々へ下水道の大切さを学んでもらうためのイベントとして開催されました。

当日は、家族連れなど過去最多の7,200人の方々が訪れ、下水道クイズラリーやマスのつかみ取り、歌手のトーク&ライブ、わんわんふれあいコーナー、フリーマーケット各種ゲーム、ポップコーンやジュースのサービスなど子供連れで楽しめる内容で、一日ゆっくと「下水道」とふれあいました。

また、当日は下水道まつり「絵画コンテスト」及び「写真コンテスト」の表彰式が行われ、小

学生9名と一般の方7名が表彰されました。



バルーンアートを楽しむ子供達



平成15年度県北浄化センター 絵画コンテスト  
(財)福島県下水道公社理事長賞作品



平成15年度県北浄化センター 写真コンテスト  
(財)福島県下水道公社理事長賞作品

## 【県中浄化センター】

県中浄化センターでは、『環境と下水道』  
～ 水と笑顔が輝く未来へ ～をテーマに「下  
水道まつり」を開催しました。当日は午前中  
に若干雨が降ったものの、晴天が広がり、絶  
好のお祭り日和に恵まれました。入場者数は  
昨年を遙かに上回る約6,600人でした。

場内では、来場者が下水道スタンプラリー  
等のイベントに参加して、各コーナーや管理



平成15年度県中浄化センターポスターコンテスト  
(財)福島県下水道公社理事長賞作品



微生物を観察する子供達

棟などを巡ることで、下水道への理解と関心  
を深めていました。また、下水道機器展示コ  
ーナーでは、下水道管渠を使った配管アート、  
ミニ重機の運転を体験できるコーナーがあり、  
子供達は真剣な顔で操縦をしていました。

さらにメインステージでは、太鼓の実演、  
吹奏楽の演奏、キャラクターショーや今年度  
から募集を始めたポスターコンテスト表彰式  
が繰り広げられ、盛んな拍手や歓声が響き渡  
っていました。

## 『平成15年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会』のご案内

福島県下水道排水設備工事責任技術者の有効期間は5年間であるため、登録期間満了後、引き続き登録を受けるときは、技能・技術の維持及び最新技術の習得等を目的とする更新講習を受講し、登録の更新を受けなければなりません。

今回の更新対象者は、平成10年度に実施した更新講習を受講した更新登録者の1,175名の技術者が対象となっております。(責任技術者証の登録番号が10- の技術者)

なお、平成15年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会は、下記により開催する予定となっております。

### 1. 申し込み方法

更新対象の技術者へ、11月下旬に当社から「更新講習会受講申込書」及び「責任技術者登録申請書(更新)」を直接送付します。

### 2. 受付期間

12月初旬から1月9日(金)まで「受講申込書」及び「登録申請書(更新)」に必要事項を記入して、当公社へ提出して下さい。この期間を過ぎると原則として受講することができず、従って更新登録をすることができませんので、ご注意ください。

### 3. 開催場所

月 日	開催場所
2月17日(火)	福島市
2月19日(木)	原町市
2月20日(金)	いわき市
2月24日(火)	郡山市
2月26日(木)	会津若松市

受講日は、希望する受講日を「受講申込書」に記入していただきます。なお、会場の収容人員の都合により、希望と異なる受講日を指定する場合があります。



## センターだより『県中浄化センター』

今年も本来の夏とはちょっと違った夏が終わり、センター内では秋の味覚“栗”が実り、空には多くのとんぼが飛んでおり、時折木々にとまったりして、秋の到来を感じるこの頃です。また、阿久土山ではキノコ（もしかしてマツタケも）が採れるかと思えます。ただ、先日阿久土山にスズメバチの巣が見つかり駆除したばかりなので、キノコ取りには十分注意が必要のようです。修景池ではすぐそばの湿地帯よりザリガニが進行しており、そのまま住み着くつもりです。

さて、最近のセンターへの流入水量は一日あたり約 60,000m<sup>3</sup>あり、微生物の活躍により、放流水の透視度は約 100cmと良好な状況です。しかし、これから徐々に水温が低下してくると、微生物の動きも鈍くなってきますが、そこはわれわれ職員一同で微生物が動きやすい環境を作ってあげ、安定した水処理を行っていきたいと思っています。

また、水処理と切り離せない汚泥処理（汚泥溶融）は、一日あたり約 60tの脱水汚泥を溶融処理しており、こちらも安定した状況です。溶融施設は、気温はほとんど関係ないと思えますが、気を抜くことなく安定した処理をしていきたいと思えます。



おいしそうな  
栗

羽を休める  
とんぼ



このように、自然環境に囲まれながら、毎日、水処理及び汚泥処理運転を行い、きれいにした水を阿武隈川に戻し、廃棄物の減量化に努め、少しでも環境を守る手助けができればと思っています。ちなみに先日の新聞に阿武隈川のアユの遡上が増えており、理由としては、下水道普及の効果と河川愛護意識の高まりではとの記事が載っており、更なる下水道の普及と水処理の仕事に励みたいと考えています。

## 社会科見学 作文のご紹介

当社の各センターでは、各学校及び団体等から処理場の施設見学を受け入れております。今回、二本松市立石井小学校から見学後に届いた、4年生の児童の作文をご紹介します。

### 『あだたら清流センターのみなさんへ』

あだたら清流センターのみなさん 6月13日の金曜日は社会科見学でいろいろなことを教えてくださってありがとうございました。社会科見学であだたら清流センターはどういうところかと思いました。見学してみたところ、いろいろなことが分りました。そしてあだたら清流センターはきたない水をきれいにしてくれる生物がいると分りました。そしてその生物はアスピディスカやアルセラ、モルピセラ、アメーバー、アメーバーテディオサ、エビスティリス、トコフィリア、トラケロフィラム、ボルティセラ、レパデフ、ポリホデンドロン、レパデフ、ペラネマなどいろいろな生物がわかりました。そして、その生物たちが水をきれいにすることがビックリし

ました。そして、わるい虫もいるということも分りました。



社会科見学の児童達  
(あだたら清流センター)

また、トイレの水が一番きたないと思っていましたが、台所の水が一番きたないと思っていませんでした。そのことに少しびっくりしました。そして、いろいろな機械があるのに「すごいなあ」と思いました。でもその機械でみんなが水を飲めるようにがんばって

いることがとてもすごいと思って感じました。

これからもがんばってください。水のこといろいろわかりました。6月13日は、本当に有難うございました。わたしは、これから水を大切にしていきたいと思います。

## 『下水道施設設計受託』のご案内

平成14年度末の全国平均の下水道普及率は65.2%であるのに対し、福島県平均の下水道普及率は37.1%と著しく立ち遅れた状況にあります。これは、県土が広大であることや下水道の歴史が比較的浅いことなどが原因と考えられていますが、我々県民の貴重な財産である自然豊かな県土を守り快適な生活環境を築くためには、下水道の普及促進が避けて通れない重要な課題となっています。

地方公共団体、特に町村部が下水道施設を整備しようとする場合、担当職員の確保が問題となります。処理場、ポンプ場、管路施設を建設するためには、土木、建築、機械、電気等の一定の専門技術を有する職員の配置が必要となりますが（下水道法第22条）、その様な職員の確保はなかなか大変なのが実情のようです。

下水道公社では、執行体制が十分でない自治体を技術的な側面から支援するため、計画



計画設計



段階から設計積算、工事管理に至る総合的な技術支援事業を行っています。下水道公社は県と市町村によって設立された公益団体ですので、守秘義務・中立性・公平性に優れ、国、県等の各種基準に基づいた積算の技術力も蓄積しています。また、県が設置した流域下水道の維持管理を行っており、維持管理に関するノウハウも豊富です。技術士、一級建築士をはじめ下水道技術検定第1種・2種・3種他関連資格の有資格者が業務を担当し、市町村の皆様をサポートいたします。

この他、下水道公社では技術支援事業の一環として「下水道事業相談室」を開設しております。下水道事業に関するお困り事がありましたら、下水道公社が総力をあげて問題解決にあたりますので是非ご利用ください。なお、相談の申込みは随時受け付けておりますのでお気軽にお問合せください。



施工管理



### 財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町2番1号 福島県庁舟場町分館3F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage: <http://www.fspc.or.jp>

E-mail: [kikakukanri@fspc.or.jp](mailto:kikakukanri@fspc.or.jp)

本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。